資料３

令和５年８月２８日　報道発表資料

テラス型バス停「なごまちテラス」で、ちょっと良いひとやすみ
～広小路通で新たな路面公共交通システム SRT の乗降・待合空間の社会実験を実施します～

本市が進める新たな路面公共交通システムＳＲＴの導入に向けた乗降・待合空間の検討の一環として、下記のとおり既存のバス停をテラス型にした社会実験を実施します。実験での検証結果を踏まえて、ＳＲＴの当初運行に向けた乗降・待合空間の整備につなげるとともに、公共交通・歩行者中心のウォーカブルな空間を目指します。

記

１．実験の概要（チラシ参照）

ＳＲＴの当初運行（東西ルート）では、まちなかの賑わいを拡大するウォーカブルな空間形成と合わせ、利用者が安全かつ快適に乗り降りできるようなテラス型の乗降・待合空間を目指しています。

今回の社会実験では、既存のバス停で以下の取組を行うことにより、バスの乗降のしやすさや一般交通への影響、まちの回遊拠点としての機能について検証します。

① バスの正着性向上：広小路通の停車帯を活用し、テラス型バス停を暫定整備

② 回遊拠点の創出　：ベンチやデジタル案内板の設置、沿道空地の活用等を実施

※今回の社会実験では、連節バスは走りません。

２．実験期間

令和５年９月１６日(土)～１１月３０日(木)の約２か月半

※テラス型バス停の施工は、９月１日(金)深夜から開始します。

３．実施場所

広小路通の「納屋橋」バス停２番のりば・「広小路本町」バス停７番のりば

＜参考＞

新たな路面公共交通システム「ＳＲＴ」の導入に向けて（市公式ウェブサイト）

https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000089453.html

（トップページ＞市政情報 分野別の計画・指針・調査結果＞都市開発・建築＞名古屋市における総合交通政策プラン、戦略等＞新たな路面公共交通システム「ＳＲＴ」の導入に向けて）